



臨床・教育・研究を通して 作業療法の未来を共に紡ぐ

本講演では、ご自身の経験をもとに、臨床・教育・研究がどのようにつながり、作業療法の発展や専門性の向上に寄与していくのかについてお話しいただきます。症例報告をきっかけとした研究の広がりや、臨床実習を通じた教育経験を交えながら、日々の臨床実践そのものが教育や研究につながり、未来の作業療法を築いていくという視点をご共有いただきます。

本学会テーマ「共に前へ—私たちは未来に何を残せるか—」にも通じる、仲間と学び合いながら作業療法の未来を考える機会となるご講演です。

※上記文章は講師の抄録を元に実行委員が作成しています。



高橋
香代子
氏

【所属】

北里大学 作業療法学専攻 教授
一般社団法人日本作業療法士協会 常務理事

【資格】

2002年 作業療法士免許 取得
2002年 学士（作業療法学）（北里大学）
2004年 修士（医科学）（北里大学）
2008年 博士号（リハビリテーション科学）（ボストン大学）

【地域活動及び社会貢献活動】

日本作業療法士協会（常務理事）
世界作業療法士連盟（日本代表第一代理）
アジア太平洋作業療法士地域グループ（副会長）
日本臨床作業療法学会（監事）
NPO法人リハビリテーション医療推進機構（理事）
NPO法人日本脳性麻痺・発達医学会（理事）
神経難病リハビリテーション研究会（幹事）
世界保健機関 福祉用具外部諮問委員会（委員）
世界保健機関 パーキンソン病ガイドライン作成委員会（委員）

【略歴】

2002年 北里大学医療衛生学部作業療法学専攻 卒業
2004年 北里大学大学院医療系研究科修士課程 修了
2008年 ボストン大学大学院博士課程 修了
2008年 北里大学東病院 入職
2012年 北里大学医療衛生学部 異動